

## 下水道管路の埋設状況一覧(口径 2.0m以上)

### (1) 口径 2.0 m 以上の公共下水道管 (摂津市管理)

番号	幹線・排水区	口径	延長	点検マンホール数	布設年度(経過年数)	主な埋設箇所	緊急度
①	千里丘東蔵垣内幹線 系統	φ 3000～φ 3250	1,090m	7 箇所	昭和 56 年度～昭和 61 年度 (43 年)	市道 千里丘三島線	Ⅲ～健全
②	千里幹線 系統	φ 2000～□3300	830m	10 箇所	昭和 46 年度～昭和 57 年度 (53 年)	市道 南千里丘 5 号線	Ⅲ～健全
③	東正雀幹線	φ 2000～φ 2200	628m	7 箇所	昭和 57 年度～昭和 62 年度 (42 年)	市道 坪井味舌線	Ⅲ
④	鶴野排水区内 合流管路	φ 2000～φ 2200	183m	3 箇所	昭和 47 年度 (52 年)	市道 鶴野 14 号線	Ⅲ～健全
⑤	別府雨水幹線 系統	φ 2800	845m	3 箇所	平成 6 年度 (30 年)	府道 大阪高槻京都線	Ⅲ～健全
⑥	鳥飼西雨水幹線	φ 2000～2800	508m	1 箇所	平成 2 年度 (34 年)	市道 新在家鳥飼中線	Ⅲ～健全
⑦	茨木摂津排水区内 雨水管路	φ 2000	142m	2 箇所	昭和 48 年度 (51 年)	市道 鳥飼本町 79 号線	Ⅲ～健全
⑧	鳥飼雨水幹線	φ 2600	1,103m	2 箇所	平成 2 年度 (34 年)	府道 茨木寝屋川線横断など	健全
合計			5,329m	35 箇所	※下水道管渠の標準耐用年数：50 年	汚水系①～④：2,731m 雨水系⑤～⑧：2,598m	

※緊急度については平成 30 年度、令和元年度、令和 3～5 年度に上下水道部で実施した管路内調査の結果を記載。評価基準は下記の通り。

・緊急度Ⅰ（重度）：速やかに管の更新が必要      ・緊急度Ⅱ（中度）：部分修繕が必要      ・緊急度Ⅲ（軽度）：経過観察      ・健全：劣化なし

### (2) 口径 2.0 m 以上の流域下水道管 (大阪府管理)

番号	流域幹線	口径	延長	布設年度(経過年数)	主な埋設箇所	緊急度
①	山田幹線	φ 2000～□3000	2,480m	昭和 47 年度～平成 2 年度 (52 年)	府道 正雀一津屋線	健全
②	岸部幹線	φ 2100～□3300	1,295m	昭和 47 年度～昭和 63 年度 (52 年)	府道 十三高槻線	Ⅲ～健全
③	千里幹線	φ 3400～□3500	1,093m	昭和 57 年度～昭和 61 年度 (42 年)	府道 十三高槻線横断など	Ⅲ
④	茨木箕面幹線 (二)	φ 2400	278m	平成 8 年度 (28 年)	府道 十三高槻線	Ⅲ
⑤	茨木摂津雨水幹線	φ 3750～φ 6000	3,940m	昭和 49 年度～平成 5 年度 (50 年)	府道 大阪高槻線、府道 八尾茨木線	Ⅲ
⑥	摂津高槻雨水幹線	φ 3500～□4500	1,014m	昭和 55 年度～平成 3 年度 (44 年)	府道 大阪高槻線、府道 八尾茨木線	Ⅲ
合計			10,100m	※下水道管渠の標準耐用年数：50 年	汚水系①～④：5,146m 雨水系⑤、⑥：4,954m	

※流域千里山田幹線、茨木摂津汚水幹線、摂津高槻汚水幹線は口径 2.0m 以上の管路は無し

※緊急度については大阪府で実施した調査結果を記載。評価基準は (1) と同じ。